

前  
目  
録  
等  
の  
書  
の  
目  
録  
等  
の  
書  
の  
目  
録  
等  
の  
書

いふ世に貧乏といふ者儻として有る正しくして美しき事ある  
擬し喰ふ金持は困を亡し社會を養ふ徳者なり  
又徳者なりといふ今世は徳者金持共が正しく美  
しい者儻有るしといふた作横暴圧制の極をつくして  
二のまゝをくりかへすのであり多し故に悪しき金持を  
たをす為には正しくいふ者儻者を救ふ為には組合に  
加入し其た力を合せ其の横暴圧制の金持共を  
たをす為には一部もよく組合ははいて下にい  
正しく守る者組合ははいては一度うけ八六日王及會  
本部は是所を姓名をかいて備へるべき事なり  
にてもあるといふ事なりはくは、其事日本部、又日支部  
にかゝるべき下にい

△申すに書

私事、貴會に入會シマス

大正二年 月 日

栗井中右

町

書

八日奉二及會は中ト